令和７年度第３回ふるさと歴史講座

県立大子農学校の誕生

講師：大子町歴史資料調査研究員 大金 祐介 氏

茨城県立大子清流高等学校の前身校のひとつ、大子農学校は、明治40年（1907）、大子町小久慈において旧製糸工場を仮校舎に充てて大子町外七ヶ村学校組合立として開校しました。その後、大正８年に現在地に新築移転、大正９年に郡立移管を果たし、教育活動の充実化が図られました。しかし、大正10年、郡制が大正12年に廃止されることが決まり、郡立学校は突如として存亡の機を迎えました。こうして、学校の存続と更なる教育活動の充実化を目指して県立移管を求める運動が始まりました。今回は、数々の困難を経て、県立大子農学校が誕生するまでの歴史をご紹介します。

県立大子農学校（昭和14年頃）

日　時	令和７年11月９日（日）10:00～11:30
会　場	大子町立中央公民館 講堂（大子町池田2669）
定　員	50名程度
参 加 費	無料
申込方法	10月16日(木)から下記連絡先に参加申込をお願いします

大子町教育委員会 事務局 生涯学習担当

〒319-3551 茨城県久慈郡大子町池田2669　TEL：0295-72-1148